

3つの「C」

2026.1.8 校長 西谷 秀幸

新年の挨拶

令和8年、2026年が始まりました。今年は、十二支（じゅうにし）の7番目、「午年（うまどし）」年です。皆さんは、十二支を全部言えますか。

子丑寅卯辰巳（ね・うし・とら・う・たつ・み）
午未申酉戌亥（うま・ひつじ・さる・とり・いぬ・い）

.....

さて、板橋区の小学校は、今日から3学期が始まりました。きっと皆さんも、新しい年の始業式を新しい気持ちで迎えていることでしょう。

実は、人間は「よし、頑張るぞ！」と思う日が1年に5回、あるのだそうです。それはいつかというと、「お正月」、1学期・2学期・3学期の「始業式」、そして、自分の「誕生日」なのだそうです。

そこで、皆さんが成長していけるように、3つの「C」について、お話しします。

1つめの「C」は「**C**hance」（チャンス）です。例えば、今日の代表児童の話、運動会や音楽会などの代表の言葉、鼓笛隊、12月に紹介したFLLというロボット競技会…。学校のこと以外でも、ジュニアリーダーや習い事など、先生たちや家の人・地域の人たちは、皆さんのためにたくさんの「チャンス」を用意してくれます。

でも、それらの「チャンス」がたくさん目の前を通っているのに、つかもうとしなかったり、そもそも横や後ろを向いていて、「チャンス」が目の前を通っていることに気が付かないこともあります。ですから、自分が成長するための「チャンス」を見逃さずにしっかりとつかみ取りましょう。

2つめの「C」は「**C**hallenge」（チャレンジ）です。「失敗は成功のもと」といいます。どんなことにも積極的に「チャレンジ」をしてみましょう。

そして、3つめの「C」は「**C**hange」（チェンジ）です。
Chance（チャンス）をつかんで、新しいことに**C**hallenge（チャレンジ）することで、これまでとは違った自分、去年より成長した自分に**C**hange（チェンジ）しましょう。

Chance
（チャンス）
Challenge
（チャレンジ）
Change
（チェンジ）

.....

さて、今年、丙午の年は、「炎のような情熱や勢いのある年」になるので、「新しいことや、やろうか迷っていたこと、やるのを諦めようかなと思っていたことにチャレンジすると良い結果につながり、大きく成長する」のだそうです。

ですから、皆さんも、この3つの「C」、「**C**hance」「**C**hallenge」「**C**hange」を意識して、新たな自分に生まれ変わる3学期、そして、大きく成長する1年間にしましょう。

これで、始業式の話が終わります。

（裏面に「先生方へ」があります）

〈先生方へ〉

令和8年、2026年が始まりました。今日は、子供たちが決意を新たにする3学期始業式です。人が決意を新たにする時期は年に5回あると言われており、それらは「お正月」「年に3回ある始業式」、そして「自分の誕生日」なのだそうです。

多くの子供たちは、新しい年が始まったことで、決意を新たに学校に来ています。子供たちの決意の気持ちを大事にして、希望あふれる3学期のスタートを切ってください。

ところで、毎回もお願いしているように、始業式が終わるまでに、必ず子供たちの前に立って様子を一人一人の様子をしっかりと見てください。話を聞く時間も、子供たちの横や斜め前から、一人一人の様子を観察してください。これは健康管理上のことはもちろんですが、「始業式の朝の顔には、その子の長期休業中の様子が表れる」からなのです。

担任と視線が合わない子、うつむき加減の子などは要チェックです。つまらない冬休みを過ごした子は話に集中せずに下を見ることが多いのです。冬休みに何かあった子は、担任と視線がなかなか合いません。ですから、始業式という短い時間に、クラスの子供たちの冬休みの様子を把握してください。

この表情は、始業式の後に消えて分からなくなってしまうです。ですから、始業式の短い時間が勝負です。私たちはプロの教師ですから、どの位置にいればいいのかを考えて行動しましょう。児童理解をする絶好のチャンスですから、みすみす逃すことにはないようにしてください。よろしくお願いします。

また、今週は今年の目標、3学期の目標などを立てるクラスが多いと思いますが、「数字を入れて書かせる」と漠然とした目標から具体的な目標に変わります。そして目標は立てたあとに「そのために、何をやるのか」という具体的な手立てが大切です。学級の実態に合わせて御指導ください。なお、教室では、せひ「春の七草」も話題にしていただけると幸いです。「せりなずな ごぎょう はこべら ほとけのざ すずな すずしろ これぞ七草」…これくらいは覚えさせたいですね。

3学期は、授業日数が51日（6年生は52日）しかありません。毎時間の授業を今まで以上に意図的・計画的に進め、無駄に過ごす時間をできるだけ少なくしていきたいと思っています。今週はやることがたくさんありますが、車と同じで急加速は厳禁です。ゆっくりと徐々にペースをあげていきましょう。よろしくお願いします。

【資料】十二支の「午」と干支「丙午（ひのえ・うま）」について

- 十二支は、もともと動物とは無関係のものだった。東西南北の方角に「子（ね）・丑（うし）・寅（とら）・卯（う）・辰（たつ）・巳（み）・午（うま）・未（ひつじ）・申（さる）・酉（とり）・戌（いぬ）・亥（い）」と漢字をあてていたが、のちに十二支を覚えやすくするために、それら字に動物をあてはめ、6番目の「巳」には、「蛇」が割り当てられた。
- この十二支が「干支」の意味で用いられることがあるが、干支とは本来「十干十二支（じっかんじゅうにし）」を略した呼び名で、「十干（じっかん）」と十二支（じゅうにし）を組み合わせたものである。
- 「十干」とは、甲（こう：きのえ）、乙（おつ：きのと）、丙（へい：ひのえ）、丁（てい：ひのと）、戊（ぼ：つちのえ）、己（き：つちのと）、庚（こう：かのえ）、辛（しん：かのと）、壬（じん：みずのえ）、癸（き：みずのと）の総称で、もとは、1から10までのものを数えるための言葉だった。
- 今年の干支は「丙午（ひのえ・うま）」である。十干で3番目の「丙」は、「大地から芽が出て葉が広がった状態」という意味があり、陰陽五行説では「火性の陽」にあたるため、「太陽のように大きく広がる火」「明るい」「活発」「華やか」「生命力にあふれている」など、太陽や火が持つ強いエネルギーを象徴している。
- 十二支の7番目「午」は、馬から連想される「スピード」「行動力」「社交性」「勢いや力強さ」などの意味あり、陰陽五行説では火性の陽である。「午」は南の方角や太陽が1番高く昇る正午を象徴する十二支でもあるため、「火の気」や「勢いや運気が最高潮に達している状態」を表している。
- そのため、この2つの組み合わせである「丙午」は、「情熱と行動力で突き進む」「燃え盛るようなエネルギーで道を切り開く」といった縁起のよさを表しており、「勢いとエネルギーに満ちた活動的な年」となると考えられているため、新しいことや、これまで迷っていたこと、諦めかけていたことにチャレンジすると良い結果につながる年になると言われている。
- 前回の丙午（1966年／昭和41年）は、高度経済成長期のベビーブームだったにも関わらず、「丙午年生まれ的女性は気性が激しく、夫を不幸にする」という迷信が信じられており、「出生率が前年に比べて25%も減る」という現象が起きた。この迷信は、好きな人に会いたいと思い詰めたお七が江戸時代に火付け（放火）の罪を犯して処刑されたと伝わる「八百屋お七」という話が由来とされているが、「八百屋お七」が歌舞伎や人形浄瑠璃で演じられた際、「お七が丙午年生まれであった」という設定付きで全国に広まったため、「丙午の迷信」が誕生し、当時はこの迷信を信じる人が多かった。
- 前回の「丙午」（昭和41年＝1966年）の重大ニュース
 - ①海外旅行の自由化…1月1日から一人年間1回という海外渡航回数の制限が撤廃。
 - ②祝日の増加…6月の祝日法改正で、建国記念の日、敬老の日、体育の日（現スポーツの日）を制定。
 - ③ザ・ビートルズ来日…6月29日にザ・ビートルズが来日し、30日～7月2日にかけて日本武道館で公演
 - ④日産とプリンス合併…8月1日に日産自動車がプリンス自動車工業を吸収合併。
 - ⑤国立劇場開場…11月1日に国立劇場本館が開場（現在は再整備等のため閉場中）。
 - ⑥「笑点」放送開始…5月15日に日テレ系列でお笑い演芸番組「笑点」が放送開始。